



広報

み 3i

8年 10月



(やすづか保育園運動会：綱引き)

秋たけなわ

暑かった夏も過ぎ、さわやかな秋本番となりました。

“スポーツの秋”“味覚の秋”といわれるように、体を動かすにも、味覚を楽しむにも最適の季節です。

みなさんも「栄養・運動・休養」のバランスを保って、マイペースで健康・体力づくりにさわやかな汗を流してみてはいかがでしょうか。

昼間より夜間に多い交通死亡事故

目立つ服装でドライバーにアピール

●ドライバーの注意事項● スピード違反が事故のもと



◆夜間の運転の特徴◆

夜間の交通事故で自動車運転中による事故原因は、スピード違反が一番多く、全体の66%です。

夜間の運転は、①視界が狭くなり、危険を確認するのが遅くなる ②気が大きくなって、身勝手な運転 ③暗闇で見え ④対向車のライトで一瞬見えなくなる ⑤対向車のライトで、色と見えにくい色がある

③暗闇で見え ④対向車のライトで一瞬見えなくなる ⑤対向車のライトで、色と見えにくい色がある

昭和63年から平成7年まで、8年連続で毎年実に1万人以上が交通事故で死亡しています。まさに「第2次交通戦争」です。平成6年の夜間の交通事故件数は、221、140件。このうち死亡事故件数は、5、681件でした。この年のすべての交通事故死亡事故の約6割を、夜間の交通事故が占めています。そして、交通事故千件当たりの死亡率は、昼間が8・8件なのに、夜間は25・7件と昼間の約3倍です。昭和54年と比較すると、夜間の交通事故死亡事故は42・8%も増えています。これ以上、夜間の交通事故を増やさないようするには、また交通事故に遭わないために何をすればいいのかをみてみましょう。

●歩行者や自転車に乗る人の注意事項● 急な横断や急ハンドルはやめよう

夜間に歩いていて、交通死亡事故に遭う半数近くが、65歳以上のお年寄りです。なぜ、お年寄りが多いのでしょうか。事故に遭う一番の要素は服装です。

「年寄りだから、服装は地味にしなければ」「派手なのはどうも」という方もいらっしゃると思います。しかし、自分の命を自分自身で守るため、黒っぽい服装を避け、白や黄色、水色などの明るい色彩を使った服を着るようにしましょう。また、反射材（車のライトで光るシールやテープ）を車の前後やわきにつければ、暗闇でもドライバーから発見しやすくなります。

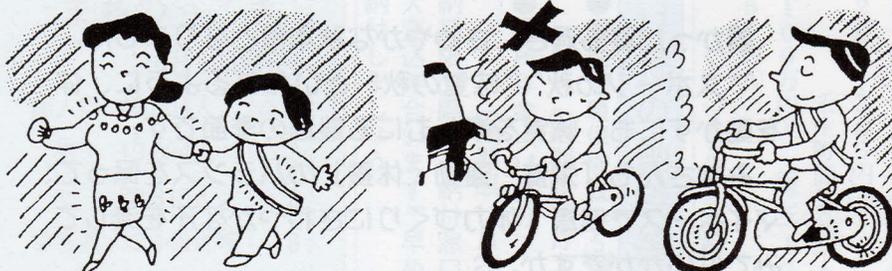
自転車に乗る人は、夜道での急な横断や急ハンドルはやめましょう。さらに、ドライバーに確認できるように自転車の反射材をつけてください。

夜間に歩いていて、交通死亡事故に遭う半数近くが、65歳以上のお年寄りです。なぜ、お年寄りが多いのでしょうか。事故に遭う一番の要素は服装です。

午後6時〜10時に多い歩行中の死亡事故

夜間の交通事故の発生状況をみてみましょう。一番多いのは自動車の運転中で、夜間の交通事故死亡事故の実に45・7%を占めています。次いで歩行中（32・5%）、自動二輪乗車中、自転車乗車中、原動機付自転車乗車中と続きます。なんと、自動車運転中と歩行中だけで全体の約8割を占めています。

自動車運転中の死亡者は、16、24歳の若者が40・9%を占め、歩行中は65歳以上のお年寄りが46・3%を占めています。自動車運転中の死亡事故は、午後6時〜午前2時が一番多く、歩行中の死亡事故は午後6時〜10時に多いのが特徴です。



目立つ服装にするか反射材をつける

急な横断、急ハンドルをやめる

反射材をつける

交通事故のない明るく住みよい町をめざし

第21回壬生町交通安全町民大会を開く

交通事故のない明るく住みよい町づくりを推進しようと、町総合安全会主催の第21回壬生町交通安全町民大会が9月20日、壬生中央公民館で開かれました。

大会は、交通事故犠牲者への黙とう、主催者清水町長のあいさつの後、交通安全功労者関係表彰、交通安全

ポスター・作文入選者表彰、作文発表、来賓あいさつ、児童から交通指導員・警察官へ花束の贈呈と続き、最後に交通事故防止の徹底を誓う「大会宣言」を採択して閉会しました。

その後、交通安全教育劇「犬のお巡りさん」が上演され、交通安全の意識を高めました。

表彰

《功労表彰》（敬称略）

鈴木金夫（仲通町）、川津 守（安塚三）、大島十四元（六美町北部）
 稲垣 稔（ひばりヶ丘）、福田 榮（六美町南部第二）、安生さく（至宝町南）、渡邊泰子（安塚中央）、糸川正枝（六美町南部第二）、田中ヨシ（至宝町北）、青木弘子（下表面）、寺内敏子（前宿坪）、越路治美（釜ヶ淵）、森島美津江（今井）、二瓶美恵子（上表面）、鈴木千代子（稲葉下馬木）、高田敏子（仲通町）、長志津子（馬場）、阿久津幸子（幸町四丁目）、小平富子（国谷外道）
 玉田初枝（至宝町南）、賀長よし江

《感謝状》

荒川林一（上新町）、青木茂男（至宝町南）、古川秀明（栃木警察署壬生交番）、阿部 稔（栃木警察署おもちゃのまち交番）

《ポスター》

☆最優秀賞 奥村哲平（睦小1年）
 落合俊晃（羽生田小2年）、齋藤秋（睦小3年）、荒川菜摘（壬生小4年）、生沼朝日（壬生小5年）、高山 歩（安塚小6年）、池田直規（壬生中1年）、館野有美子（壬生中2年）、大栗道子（南大飼中3年）

☆優秀賞

荒川将人（壬生小1年）
 篠原優子（羽生田小1年）、大垣翔子（壬生北小1年）、毛塚恵実（藤

井小2年）、大橋千奈都（稲葉小2年）、毛塚竜也（壬生北小2年）、栗原賢臣（壬生東小3年）
 高山綾平（壬生東小3年）、尾池麻由（安塚小3年）、石塚 聡（壬生小4年）、早乙女典子（稲葉小4年）、栗原幸子（安塚小4年）、青柳拓也（安塚小4年）
 阿久津友希（藤井小5年）
 落合克典（壬生東小5年）
 足助真由美（稲葉小5年）、青木心吾（壬生小6年）、阿久津裕子（稲葉小6年）、野口昌子（睦小6年）
 村上貴洋（壬生中1年）
 鯉沼香織（南大飼中1年）、中村敬美（南大飼中1年）、渡邊友理子（南大飼中2年）、

中島辰徳（南大飼中2年）、葭葉純一（壬生中2年）
 田中麻美子（南大飼中3年）、吉津谷知美（壬生中3年）、小野彩子（壬生中3年）

《作文》

☆最優秀賞 小澤卓也（壬生東小2年）、出井恵理（壬生中1年）
 ☆優秀賞 山口祥子（羽生田小1年）、染谷佐世（壬生小2年）、押田未希（壬生東小3年）、鈴木綾乃（稲葉小4年）、玉田絵里奈（壬生小5年）、小倉悠司（安塚小6年）、的場幸子（壬生中2年）
 ※大会の席上発表された最優秀作品2編は、P8・9で紹介します。

幼稚園児も

交通安全をアピール



秋の全国交通安全運動が9月21日から30日まで実施され、運動期間中の9月26日、月かげ幼稚園児による交通安全鼓笛隊パレードが行われ道行く人に交通安全を呼びかけました。

安全運動期間中は、町内各地で街頭指導や踏切安全指導、また町内各小学校の運動会において交通安全火のリレーやパレードが行われるなど、交通安全思想の高揚が図られました。



児童から交通指導員・警察官へ花束が贈られました

月かげ幼稚園鼓笛隊パレード

平成9年度

保育園入園のご案内



すけがい保育園

○保育園の所在地及び募集人数(H9.4.1付入園)

保育園名	所在地	電話番号	募集人数
公立 とおりまち保育園	通町16-9	82-0330	23人
やすづか保育園	安塚1,179-1	86-0132	12人
いなば保育園	上稲葉935-2	82-1059	18人
しもだい保育園	駅東町6-23	82-4815	15人
すけがい保育園	助谷1,165-3	86-0237	15人
私立 壬生寺保育園	大師町11-16	82-0811	6人
ありんこ保育園	壬生丁75-14	82-3137	0人

※上記以外に途中入園も受付します。随時、お問い合わせください。

『子育て相談は各保育園へ』

保育園では、お子さんのしつけ、ことばに関する
ことなど、子育てに関する相談をお受けしています。
お気軽にご相談ください。

平成9年度の保育園の入園児童を募集します。
入園を希望される方は、次により手続きをしてく
ださい。

申込期間

平成8年11月1日(金)～
11月29日(金)

申込方法

入園申請書に必要事項を記入の
うえ、お申し込みください。入園
申請書は、町民生部福祉課および
各保育園に用意してあります。

入園基準

就学前のお子さんで、両親およ
び祖父母が、仕事、病気、出産、
病人の介護などの理由で、昼間、
家庭で保育できない場合などです。

入園選考

入園基準に従って、保育の必要
性の高い順から入園措置をします。
(申し込み順ではありません)

入園決定

申請書に基づき調査のうえ、来
年2月下旬ごろ保護者に通知しま
す。

保育時間

午前8時30分から午後5時まで
(土曜日は、午後0時30分まで)

保育料

父母の前年度の所得税、前年度
分の町民税の税額により決定しま
す。(祖父母が同居で家計の主宰
者と思われる場合は、祖父母の税
額も含まれます)

特別保育の 実施について

◎延長保育

(朝)午前7時から午前8時30分
(夕)午後5時から午後7時

◇保育の条件

状況を調査し、必要と認め
られた場合。

◇保育料

一般保育料に延長保育料が
加算されます。

◇実施の条件

各保育園で一定数以上の希
望者がいる場合に限り実施し

◎障害児保育

ます。

心身に障害があり、集団保育
が可能なお子さんをお預かりし
ます。

◎乳児保育

産休明けの乳児からお預かり
します。

◇実施保育園

・壬生寺保育園
・ありんこ保育園

問合せ先

・町民生部福祉課児童福祉係
☎82-1234 内線113



すけがい保育園

和貝ハナさん 木村ナカさん

中表町の和貝ハナさんと至宝町北の木村ナカさんは、今年度中にてめでたく百歳を迎えられるにあたり、橋本内閣総理大臣から百歳のお祝いの祝状と記念の銀杯が贈られ、9月18日、清水町長から伝達



清水町長より百歳の祝状の伝達を受ける和貝さん



木村ナカさん

内閣総理大臣から百歳の 祝状と銀杯が贈られる

されました。

和貝さんは、百歳とは思えないほどお元気で、少し耳が遠いほかは身の回りのことはすべて自分でされています。また、木村さんは、この日少し体調を崩され入院されていました。とてもお元気だそ



敬老のつどい楽しむ

長寿を祝い、一日楽しく過ごしていたらこうと恒例の敬老のつど



いが9月25日、壬生中央公民館で開かれました。

つどいには、74歳以上の方が招待され、式典と演芸が行われ、式典では、清水町長のあいさつ、衆議院議長などの祝辞の後、壬生町老人クラブ連合会長の中村栄吉さんより「私たちも健康に気をつけてこれからも頑張っていきたい」と感謝のことが述べられました。

式典の後、昼食をはさみながら出席された約800人の皆さんは、浪曲や落語、漫才、歌謡曲などを楽しまれていました。

税の広場

奥さまと税

《パートや内職などの税》

◇パート収入

パート収入は通常給与所得になります。したがって、パートの年収が103万円以下ですと所得税はかかりませんし、配偶者控除を受けることもできます。

◇内職などの収入

内職などの収入は、収入から必要経費を差し引いた残りが事業所得または雑所得になります。ただし、次のいずれにも該当する方は、必要経費として65万円（収入金額が限度）を差し引くことができます。

- ①家内労働者、外交員、集金人、電力量計の検針員など、特定の人に対して継続して労務の提供をする人
- ②事業所得及び雑所得の必要経費と給与所得の収入金額の合計が65万円に満たない人

したがって、収入が内職だけの場合にはパート収入と同様に

年収が103万円以下ですと所得税はかかりませんし、配偶者控除を受けることもできます。

《配偶者特別控除》

配偶者特別控除は納税者本人の合計所得が1,000万円（給与年収で約1,231万円）を超える年については、受けることができます。

控除額は配偶者の所得によって調整されますが、最高額は38万円です。この控除は、給与所得となるパート収入であれば収入が103万円を超えていても141万円未満であれば受けることができます。

《奥さまが財産を もつたときは》

婚姻期間が20年以上の夫婦間で居住用不動産等の贈与が行われた場合に、一定の要件を満たすときには、贈与税の申告をすることによって、基礎控除の60万円のほかに最高2,000万円までの配偶者控除が受けられます。

この配偶者控除は、同じ配偶者間において一生に一度しか受けられません。

詳しくは、栃木税務署（☎22-0885）へお問い合わせください。

新たに4名の農業者を認定

平成7年度にスタートした農業経営改善計画認定制度の認定農業者が、新たに4名誕生し9月26日、役場会議室において認定書の授与式が行われました。

この制度は、町の「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」で示された農業経営の目標に向けて、自らの創意と工夫により経営規模の拡大・集約化・複合

化を図り、21世紀に向けた農業経営を目指す方を、関係機関が地域の将来にわたる農業経営の担い手として支援していくものです。

授与式では、「町でも農業発展のため、いろいろな面で支援をしていきますので、みなさんが町の農業振興のために活躍してくださいるのを期待します」と、清水町長から激励の言葉が贈られました。

認定農業者には、次のような支援措置が受けられます。

- ① 農用地の利用集積の支援
 - ② 農業生産法人出資育成事業
 - ③ 税制上の特例（農業用機械・施設等の割増償却）
 - ④ 融資面の配慮（低利の資金融資）
 - ⑤ 各種研修会の実施
- 今回「認定農業者」の認定を受けられたのは、次の方々です。

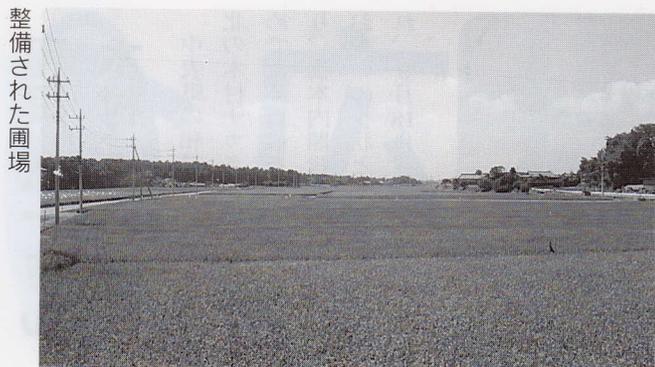


町長（中央）囲む
認定農業者のみなさん

認定農業者一覧

（敬称略）

氏名	年齢	住所	目標とする営農類型
山野上 三郎	48	壬生町大字福和田1585-4	きく
(有)高橋養豚場 高橋 正義	48	〃 藤井1244-1	豚
(有)田中養豚場 田中 英男	47	〃 国谷826	豚
石川 久夫	48	〃 羽生田1677	豚



整備された圃場

農の心づくりに結集

10年の歳月をかけ

国谷地区圃場整備事業が完成

恵川土地改良区（大橋義雄理事長の竣工記念碑除幕式並びに竣工記念式典が9月3日、恵川橋のたもとの現地において、稲見農務部技監、清水町長、糸川町議会議長、佐藤県議など来賓多数が出席のもと行われました。

本事業は、近代的な農業経営の実現にふさわしい生産基盤とすべく、昭和61年に恵川土地改良区を

設立、県営圃場整備事業として工事に着手し、10年の歳月を要し事業の竣工を迎えました。

恵川土地改良区は、町の中心部に位置し、同地区は大河よりの用水も無く、上流部は天然水にて数箇所の沼よりの湧き水利用であり干ばつの年などは、田植えが遅れ減収状態になるほか、用水路が排水と同一の所も多く、雨量の多い

ときは水のかげ流し状態でした。また、田は不正形で小ささまざまで出入りの道も無く、作業能率の低下など多大な労力を費やしていました。

この圃場整備事業により区画整理、農地の集団化がなされ、経営の合理化・機械化による生産性の向上が図られ、近代的な農業が行われるようになりました。

◇国谷地区県営圃場整備事業

○期間 昭和61年度～

平成8年度（10年間）

○事業

- ・ 区域面積 122 ha
- ・ 事業費 11億85百万円
- ・ 組合員数 194人



竣工記念碑除幕式の様子

収入役に毛塚重徳氏を再任

定例議会などで7名の方が決まる

9月9日の定例町議会において、毛塚重徳氏（六美町北部）が収入役選任の同意を受け、収入役に再任されました。

また、同議会で町教育委員会委員、町固定資産評価審査委員会委員も選任され、さらに、町選挙管理委員会委員の選挙も行われ、次の方々が決定されました。

▽教育委員



小倉 武氏
(福田 新任)



毛塚重徳氏

▽収入役

▽選挙管理委員



青木 莊一氏
(下表町 再任)



吉田忠雄氏
(城南 再任)

▽固定資産評価審査委員



松本徳郎氏
(万町 再任)



大場伸一氏
(下町 再任)



早乙女雅一氏
(安塚二 再任)

赤い羽根50年目のありがとう

共同募金10月1日～12月31日

一人じゃない
みんな一緒に生きていく

平成8年地価調査

土地の標準価格を公表

栃木県知事から9月20日付で、平成8年地価調査基準地の標準価格が公表されました。

これは、国土利用計画法に基づいて、県知事が7月1日を基準日として調査を実施したものです。この価格が民間の土地取引の目安となり、公共事業の用地取得の基準となります。

閲覧希望の方は、町総務部企画財政課へおこしください。

◇調査基準日

平成8年7月1日

◇基準地の価格

単位面積（1㎡）当たり

第1種中高層住居専用地域

○表町1928番2

「表町11番46号」

56、600円

○落合一丁目18番31

「落合一丁目18番35号」

80、500円

第1種低層住居専用地域

○壬生丁字六美117番17

76、000円

○緑町一丁目1022番24

「緑町一丁目4番11号」

105、000円

第1種住居地域

○至宝三丁目48番25

「至宝三丁目4番6号」

73、700円

○中央町327番3

「中央町2番15号」

79、700円

○本丸一丁目3263番23外1筆

「本丸一丁目8番6号」

70、800円

○安塚字宿内1928番外2筆

27、700円

近隣商業地域

○緑町二丁目1022番170

「緑町二丁目5番6号」

145、000円

○安塚字南原1006番5

100、000円

工業専用地域

○壬生乙字吾妻原3549番1

26、000円

市街化調整区域

○羽生田字前川原2346番4外1筆

18、300円

○国谷字前畑1972番2

15、700円

○下稲葉字釜ヶ淵64番1外2筆

14、500円

交通安全作文

交通安全作文で最優秀賞になり、町民大会の席上発表された出井恵理さん（壬生中1年）の「交通事故防止について」と小澤卓也くん（壬生東小2年）の「じてん車のり方で考えたこと」を紹介します。

交通事故防止について



壬生中学校1年
出井恵理

みなさんは交通事故にあったことがありますか。わたしは、あまり大きな事故はなかったけど、小学5年生のとき、友達と遊びながら帰っていて、まちがって道路に飛び出してしまい、ひかれそうになった経験があります。わたしは、そのときの自動車に乗っていた人が、学校に電話をしてきてあとで先生におこられたらいやだなあぐらいしか思っています。その後も、先生からおこられることもなく、わたしは、よかったです。

自動車に乗っていた人はやさしかったんだと思います。でも、中学生になった今、よくよく考えてみると、わたしはそのとき、もう少しで命をおとすところだったのです。そのことをかんがえるとゾッとします。きっと自動車に乗っていた人も、学校に言わなくても、わたしが気がついて、これからは、気をつけてくれればいいと思っただけだと思います。なのにわたしは、そのときおこられたらいやだなあとかかかえていなかったの、と、もはずかしいです。

自動車社会が進むにつれて、交通事故もどんどん増えていきます。しかし、自動車というとても便利な乗り物を、なくそうなどという事は、考えられません。だから、「少しぐらい交通ルールを守らなくても、わたしだけならいいや。」という考えを持っている人がたくさんいると、交通事故は増える一方です。減るとは思えません。わたしも、「わたしだけなら。」と、思っていた一人でした。わたしの場合、まだ大きな交通事故にあわなかったからよかったですけど、もしこの「わたしだけなら。」という気持ちがあつてもあつても、交通ルールを守らず、命をおとしてしまほんの少しの考えで、自分の将来の夢や希望を全部なくしてしまつて、自分の一生が変わつてしまつて、自分ではありませぬ。交通ルールを守ればいいんです。しかし、こんな簡単なことができない人も、この世の中にはたくさんいます。こうした人を見かけたら、勇気をだして、注意をするようにしたいです。こんな一人の勇気は小さいけれど、この世界中の人々みんなの勇気を合わせて、注意しあつて、より安全で、平和な世界にみんなですていけたらいいと思います。それにはまず、一人一人の心がけが、大切だと思います。わたしも、その「一人一人」のうちの一人として、気をつけたいです。

資料館コーナー

郷土の人々

「近世壬生の画人たち」(六)

福田棠陰(ふくだ とういん)

1827年(文化10)～1868年(慶応4)

字は利重郎といい、棠陰、棠齋などと号しました。文政10年西方村元(旧壬生藩領)に生まれました。福田家の家伝によると、代々壬生藩の家臣であつたといいますが、その裏付けとなる資料もなく詳ではありません。

絵は、壬生藩家老の高須甘棠に師事しましたが、本陣の松本甘曉よりも、年齢が15歳下でありますから、黒子棠林などともに先輩格の甘曉サロンのグループの一員ということになります。

画人としての甘曉のところは、常に文人墨客の集会所で、江戸における谷文晁の写山楼と同じような雰囲気ですから、大いに学ぶものがあつたことでしょう。

棠陰も甘棠門下として、描画の習練は基本的に狩野派様式で、そ

法名は、福翁寿徳信士
次回は、黒子棠林です。



(花鳥図)

じてん車ののり方で

考えたこと



壬生東小学校2年
小澤卓也

ぼくは、二年生だから、まだじてん車でどうろを一人では、はしれません。早く、じてん車にのれるようになりたいと思っています。でも、おかあさんの車のうしろにのると、ときどき、とてもあぶないじてん車のりをしている人たちを見ます。

このあいだ、国谷のえきまへとおりを、おかあさんと車にのってとおっていたときのことです。中学生がじてん車で、どうろにとび出しました。おかあさんがキーツときゅうブレーキをかけました。ぼくは、おでこをおつけてしまいました。もう少しで、こうつうじこになるところでこわかったです。もし、じこになっていたら中学生もいたい思いをするしお母さんもしやな思いをしなければなりません。じこにならなくて本当によかった

たと思いました。そして、こうつうルールは、きちんとまもらなければいけないと思いました。

おとといは、おうだんほうどうを、おかあさんと小さな子がじてん車にのってわたっているところを見かけました。おかあさんがさきで、

子どもが、なきながらあとをついてはしっていました。あわててころんだらひかれていたかもしれせん。そのおかあさんは、子どものあとから、おうだんほうどうをわたってあげればよかったのになと思いました。

それから、かいものぶくろをいっぱいもって、ふらふらとじてん車にのっている人もよく見かけます。にもつがおもくて、ハンドルがもちにくそうです。おもいにもつは、うしろにつめばいいのになあ、と思います。

夕がた、犬をさんぼしながら、じてん車にのっている人もいます。犬がきゅうにへんなほうこうにはしつたら、とてもきげんです。

それから、ぼくぐらいの子が、お兄さんの大きなじてん車にのっていたのを見てびっくりしました。

足が地めんにつかなくてころびそうでした。大きすぎるじてん車は、うんでんするのがむずかしいし、きげんです。だからぼくは、お父さんのじてん車にはのろうと思いません。

じてん車にのれる人はたくさんいるけれど、じてん車ののり方がうまい人は、少ないかもしれないと思います。

きのう久しぶりに、にわでマウンテンバイクにのろうとしたら、空気がぬけていました。しらないで道ろに出てパンクしてころんだら、じこにあっていたかもしれないせん。

ぼくは、こうつうじこにあうといたいし、にゆういんしなればならないし、それに、お父さんやお母さんや先生やお友だちに心配かけるので、交つうじこにあいたくありません。

道ろに出られるようになってもまじめな気もちで、自分の目や耳であぶくないかをちゃんとたしかめてのりたいたいです。点けんもきちんとして安全うんでんのでのろうと思います。



家庭の地震対策(図解)



火災を防ぐ③

過去に発生した地震による火災のなかには、家を留守にしていたために初期消火ができず、被害に遭ってしまったケースがあります。ちよつと買物などに出かけようと、ストーブなどをつけっぱなしにしていたために起きてしまった火災ですが、ここでは、留守宅に起きた火災の初期消火の方法をご紹介します。特に、アパートのように部屋の面積が少なく、ドアや窓など外部への通路の少ない、いわゆる「密閉度の高い」部屋に適しています。

留守中に地震・火災が発生したら

近隣の部屋で火災が発生したとします。家人は留守ですから、外から火災の発生を知らせても当然応答はありません。第一発見者は消防機関に連絡するとともに、近所の人へ応援を呼びかけ、ありつたけの粉末消火器を用意します。

最近のドアにはたいいてい郵便や新聞受けの差し込み口がありますから、そこからノズルを差し込ん

の行動イベント集

で勢いよく粉末を流し込みます。差し込み口がなければ、廊下側の窓ガラスに小さな穴をあけ、そこからノズルを入れるという方法があります。この場合注意したいのはガラス窓を全部割ってしまった方がいいこと。空気が部屋に入り込み、かえって火の勢いを強めてしまいます。

一本の消火器が終わったら続いて一本というように継続的に行います。そのうちに、ある程度火の勢いは弱まるはずですが。最後は部屋を強制開放し、残り火があれば水などで消火します。

これは、緊急時に行うまれなケースですが、覚えておいて損のない消火方法の一つです。



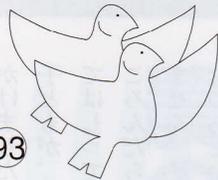
い 広 場

青春スケッチ 65



お 達 者

カ ッ プ ル 93



安塚二 順 作さん(79) 夫妻
 篠原 モト子さん(74)

「私は、サツキの手入れ、妻は、庭などの草取りなどで、適当に体を動かしているのが健康の秘訣か

も知れませんが」という篠原さんご夫妻。
 順作さんは、昭和6年に南犬飼

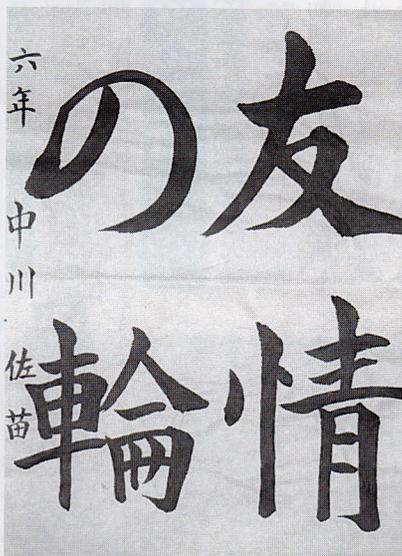


いろいろな所を自分の目で見たい

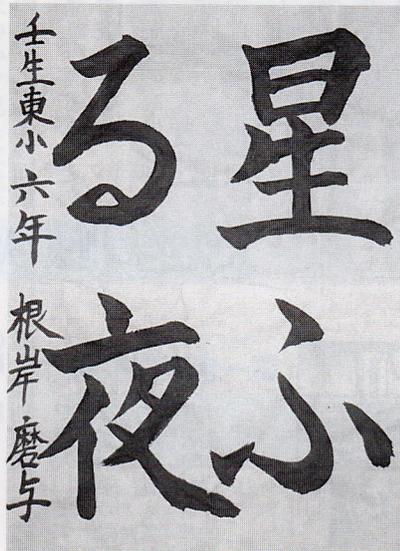
緑町一丁目 伏木 智美さん

「壬生に越してきて2年目です」という智美さん。趣味でパッチワークを習っていますが、ようやく時間的にも余裕が持てるようになったので、タペトリーやテーブルクロスなどの大きな作品にもチャレンジしてみたいとのこと。

旅行も好きという智美さん。先月、北海道を旅行され、来年にはハワイ旅行を計画されているそうで、「これからもいろいろな所を自分の目で見てきたいですね」と笑顔で答えてくれました。



壬生東小学校6年
 中川 佐苗



壬生東小学校6年
 根岸 磨与



私の作品

ふれあ

車塚自治会敬老会のようす



車塚自治会敬老会

お年寄りとの 交流を深める

車塚自治会（大栗宗二会長）の恒例行事である敬老会が9月8日、車塚公民館で行われ、自治会内の70歳以上のお年寄り29名が招待されました。

敬老会は、長寿を祝うとともに、地域内のお年寄りとの交流を深めようと15年ほど前から毎年行われています。

当日は、自治会の役員さんや婦人部の人たちが準備にあたり、食事やカラオケなどを楽しみながら昔話に花を咲かせ楽しいひとときを過ごしていました。

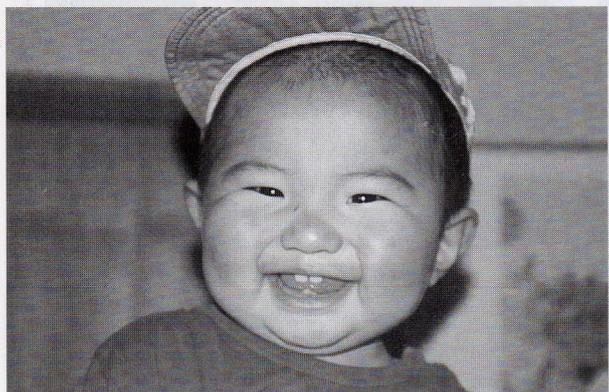
順作さんの趣味はサツキの手入れ、広い屋敷内に植えられた数百本のサツキをすべて手入れされているそうです。

モト子さんは、家庭菜園で野菜づくりを楽しんでいられ、季節ごとの野菜を作り、自宅で食べる野菜はすべて賄っているほか、分家した子どもさんたちにも配っているそうです。

お二人の楽しみはと尋ねますと、「お正月、お盆、父の日、母の日などに子どもたちや孫たちが遊びに来てくれるのが、一番楽しいですね」と笑顔で話してくれました。



チビっ子アルバム

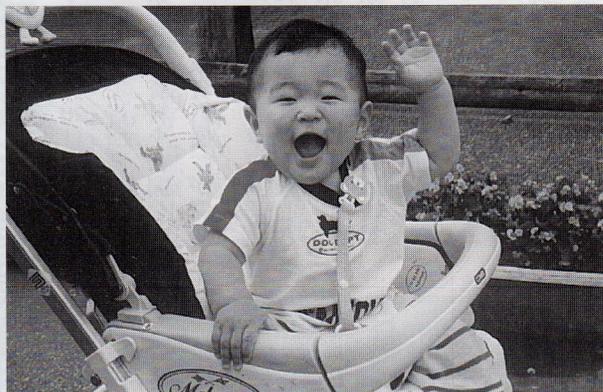


ゆうた
裕太ちゃん（1歳）

（父）渡辺 修二さん（落合）
（母）ク 春巳さん

お母さんから一言

元気で優しい子になってね。



しょうた
翔太ちゃん（1歳）

（父）清水 勝さん（県営壬生住宅）
（母）ク 麻美さん

お母さんから一言

みんなから愛される子になってね。

「チビっ子アルバム」に出てくれるおさんを募集しています。ご希望の方は、写真に簡単なメッセージを添えて町企画財政課広報聴係（☎82-1234 内線212）までお送りください。

県研修会で活動状況を発表

町体育指導委員会

平成8年度栃木県体育指導委員
研修会が8月26日、宇都宮市の県
総合教育センターで行われ、壬生
町体育指導委員会（鈴木正浩会長）
が、壬生町の体育指導委員活動状
況について発表しました。

壬生町は、第2分科会に属し、
町体育指導委員会中島義家副会長
が「スポーツ振興と体育指導委員
の役割」と題して、町の産業・観
光などをOHPやスライドを交え
ながら、ニュースポーツの推進状
況を発表、その後、発表に対する
質問や意見が出され、熱心な研究
協議が行われました。

研修会には、県内の体育指導委
員約270名が参加、午前中に武
蔵丘短期大学教授の水上和夫氏の
「地域スポーツクラブの育成と体
育指導委員の役割」と題した講演
が行われ、午後は3分科会に分か
れ、事例発表と研究協議が行われ
ました。

最後に、斎藤操県体育指導委員
会会長から「県民一人一スポーツ
運動の推進と普及に努力してい
てほしい」とのお願いがあり閉幕
しました。

女性ドライバー安全運転競技会

団体・個人にすばらしい活躍

競技を通して、安全運転の向上と交通ルールの知識をさら
に高めあい、交通安全意識の高揚を図る第17回栃木地区女性
ドライバー安全運転競技大会が9月2日、栃木市の栃木自動
車教習所で開かれ、栃木市、壬生町など1市4町から11チ
ーム(AT・MT車各1名の2名1組)が出場して行われました。

本町からは、7月12日の町大会で上位入賞した町女
性ドライバークラブ（人見イハ会長）の2チームが出
場、団体の部で1、2位を独占するほか、個人の部で
も上位入賞するなど、すばらしい成績をおさめました。

大会結果

《団体の部》

- 優勝 壬生町女性ドライバークラブB〔越路治美
(MT) 大橋葉子 (AT)〕
準優勝 壬生町女性ドライバークラブA〔永倉恭子
(MT) 石澤裕子 (AT)〕

《個人の部》

- AT車の部
優勝 石澤裕子
準優勝 大橋葉子
○MT車の部
優勝 越路治美



入賞者のみなさん

県中学校総合体育大会バレーボール大会

壬生中学校(男子)が見事優勝

栃木県中学校体育連盟主催の平
成8年度栃木県中学校総合体育大
会バレーボール大会が7月29・30
日の両日、河内町体育館で行われ、
県内の27チームが熱戦を展開しま
した。

本町から出場した壬生中男子バ
レーボール部は、1・2回戦を危
なげなく勝ち進み、決勝リーグに
おいても日ごろの練習の成果を遺

憾なく発揮し、すべての試合にス
トレート勝ちをおさめるなど、3
勝0敗の成績で見事優勝を飾りま
した。

なお、優勝した壬生中バレーボ
ール部は、8月9・10日に行われ
た第31回関東中学校バレーボール
大会においても見事な活躍をみせ
ました。

壬生城主鳥居家資料展開く

常楽寺では、9月20日から26日
まで当寺の寺宝館で寺所蔵の壬生
城主鳥居家に縁の資料を公開した
「壬生城主鳥居家資料展」が開か
れました。

資料展には、家康より拝領した
鳥居家伝来の「永楽銭時絵鞍」や
4代將軍家綱よりの領知目録、忠
宝公の陣羽織など約50点が展示さ
れました。

また、一般公開に先立ち9月8
日には、鳥居家17代目の鳥居明さ
んご夫妻（鎌倉市在住）も訪れ、

住職の説明を聞きながら展示され
た資料をご覧になっていました。



資料展をご覧になる鳥居明ご夫妻

優勝の壬生中男子バレー部



8分に1回

どこかで火災が起きています

平成7年1年間に発生した火災は全国で約6万2千9百件。およそ8分に1回、全国のどこかで火事が起きていることになりました。

一番多いのは

タバコによる死者

住宅火災による死者数を発火原因別にみると、タバコが一番多く、次いで暖房器具、調理器具と続き

ます。住宅防火のために、次のようなことに気をつけてください。

住宅防火のポイント

① 寝タバコの厳禁

最も多い住宅火災の発火源はタバコです。

特に寝タバコが原因の火災で死者が出るケースが多く、就寝前に

布団の中で一服はとても危険です。

② 台所を離れるときは火を止める

死者が出るほどの大火事は深夜に多いのですが、火事が最も多発するのは晩ごはんを準備する夕方から午後8時にかけての時間帯。電話や来客で、テンプラなべなどを火にかけてそのまま台所を離れないようにしましょう。

③ 年に一度はプラグのチェックを

冷蔵庫など電気製品のプラグをずっとコンセントに差したままにしておく、長い間にほこりがたまり、そこに水分がつくと電気がショートして火事の原因になります。タコ足配線や電気コードを束ねて使うのも危険です。

音楽祭の様子



壬生町小・中学校音楽祭

町内小・中学校音楽祭に 鳥居 忱賞が贈られる

壬生町小・中学校音楽祭が9月6日、壬生中央公民館で行われ、町内小・中学校10校が参加して、合唱・合奏の部でそれぞれ日ごろの練習の成果を発表しました。今回、新たに郷土の誇る文化人「箱根八里」の作詞家・鳥居 忱没後80年を記念して、ご子孫の鳥居誠一郎・恭子（東京都在住）ご夫妻より鳥居 忱賞が町教育委員会へ寄贈され、当日の優秀校壬生小学校並びに壬生中学校へ授与されました。



忱賞を手渡す鳥居誠一郎氏



文化協会文芸部選



短歌

吊りてやれば子ら戯れて眠りたる思い出のある蚊帳捨て難し

鈴木佳世子

目薬に飲みぐすりはた貼り薬 医薬にたよるくらしの続く

角田 節子

のんびりと牧草を食む牛の群 小さは今年生れしならん

篠原 マサ

うら庭の茄子もトマトも終りたり鷹の爪だけ花咲かせてる

新井 ハナ

俳句

つり橋に少女揺れおり秋の花

佐藤 淑子

未完の句ばかりの手帖秋桜

糸川 正枝

萩咲いて深きくぼの乙女かな

広沢 ツヤ

抱きぐせをつけてしまぬ花野道

高山香代子

長靴をはいた猫



◎日 時 12月8日(日)
 開場：午後1時
 開演：午後1時30分

◎会 場 壬生中央公民館大ホール

◎入 場 料 800円(全自由席)

※入場券は、壬生中央公民館、稲葉・南犬飼出張所、豊壬生町施設振興公社事務所(総合公園内)で取り扱っています。

◎主 催 豊壬生町施設振興公社
 ◎後 援 壬生町教育委員会
 ◎問 合 せ 先 壬生中央公民館

☎82-0108
 豊壬生町施設振興公社
 ☎86-7117

おたくの が ご近所から好かれるために



◇動物に関する相談は
 ・動物愛護指導センター ☎028-684-5458
 ・町民生部保健課環境公害係 ☎82-1234内線109

飼い主としての心がけ!

- 回りに迷惑や危害を及ぼさない心くばりとしつけが大切です。
- ご近所の人すべてが、犬・ねこ好きの方とは限りません。そんな方々からも理解の得られるよう、責任をもって飼いましょう。
- 本能、習性や生理をよく理解し、家族の一員として終生飼育しましょう。



■犬はつないで飼いましょう!

犬の放し飼いは、条例で禁止されています。散歩させる時も、引き綱などでつないでしましょう。

■犬の登録と狂犬病予防注射を受けさせましょう!

『鑑札・注射済票は迷子札』になります。必ず犬の首輪などに付けましょう。

■排泄のしつけをしましょう!

排便(尿)は専用トイレ等決まった場所でさせましょう。散歩中『ふん』をした時は、必ず持ち帰り処分しましょう。

まちのうごき

10月1日現在

総人口 40,004人 (△5)
 男 19,694人 (△3)
 女 20,310人 (△2)
 世帯数 12,448世帯 (8)
 () 内は前月比

11月の納税等

●国民健康保険税(5期)
 (納期限12月2日)

●国民年金(11月分)
 (納期限11月29日)

納期限間際は、納付窓口が大変込み合います。早めに納付しましょう。

寄付

(社会福祉協議会)
 (○)数字は寄付回数

金5万円⑧ 栃木県歌謡協会県南支部様

金7千円⑤ 渡部 和平様

金3千円③ 渡部あや子様

金7千円① 稲田 光義様

金3千円① 稲田 芳枝様

金3千円① 椎野 朝子様

金3千円① 野口百合子様

金3千円① 小林 榮 様

金3千円① 小林 久子様

金2万2千385円④ 壬生町商工会婦人部様

金100万円① (株)ユニユー様

金5千円④ おもちゃのまじろバーラ婦人部様